



九州大学北京事務所

メールマガジン

2008年1月号 (Vol.3 No.1)

目次

2008/1/30

○ トピックス

中国農業大学での留学説明会 開催
北京事務所の遠隔システムによる会議運営 スタート
遠隔システムによる総合理工学府の留学生面接 行い
遠隔システムによる生物資源環境学府の留学生面接会 開催
恒例の希平会 開催

○ 2008年オリンピック特集

○ 九大人

東北師範大学 副学長 劉益春

○ 中日最前線

○ Q-ナビ



編集代表者:九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏
発行:九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局
住所:〒100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号鑄誠大厦B座2008室
電話:+86-10-5158-1387 ファックス:+86-10-5158-1367
メール:peiking_office@yahoo.co.jp (日語)
kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)



トピックス

1

中国農業大学での留学説明会 開催



1月8日、九州大学大学院農学院今泉勝己院長、吉村淳副院長が、中国農業大学を訪問し、農学与生物技术学院の李志紅党委副書記、陳青雲副院長、何紹貞副院長と会談し、とりわけ国家建設高水平大学公派研究生項目における両大学間の協力について意見交換を行った。

続いて、中国農業大学図書館の二階報告庁で生物資源環境学府の留学説明会が行われた。今泉院長は九州大学生物資源環境学府の概況を紹介した後、特に国家建設高水平大学公派研究生項目により、九州大学生物資源環境学府に留学希望する学生に対して、九大の受け入れ方針、申請の流れなどを詳しく説明し、学生の質問について、熱心に解答した。中国農業大学の修士、学部生およそ40名が説明会に参加。九州大学北京事務所徐環李副所長も説明会に出席。



2

北京事務所の遠隔システムによる会議運営 スタート

9日(水)11時から、北京事務所が九州大学留学生センター、21Cチュートリアル室、情報基盤センターSCS室との間に、遠隔会議システムを接続し、遠隔システムによる会談、PPTデータの送信をテストし、成功した。こうしたテストの成功により、遠隔システムによる留学生面接会、遠隔授業及び協議会の運営などは、北京事務所の業務の一つとしてスタートする予定。



トピックス

3

遠隔システムによる総合理工学府の留学生面接会 開催



1月15日(火)午後、九州大学大学院総合理工学研究院中島英治教授と波多聰准教授は北京科技大学材料科学与工程学院の九大留学希望者に対して、北京事務所にて、遠隔システムによる面接試験を行った。面接は1時間の筆記試験と1時間の口頭試問に分けて、計画通り、順序に行った。

4

遠隔システムによる生物資源環境学府の留学生面接会 開催

1月25日(金)、北京事務所にて、遠隔システムによる生物資源環境学府の留学生面接会を行った。今回の面接会は「国家建設高水平大学公派研究生項目」により、九州大学生物資源環境学府に留学希望する中国農業大学の五人の学生を対象としている。九州大学農学研究院の先生方が遠隔システムを通してそれぞれの留学希望者に対して、自己紹介、研究計画の説明及び質疑回答などで、学生の言語力、研究能力及び性格などについてチェックし、受け入れ可否を決定する予定。



5

恒例の希平会 開催

1月25日(金)午後、北京早稲田大学の会議室で在中国日本の高等教育・研究機関の恒例の希平会を開催された。今回の希平会ではゲストの紹介、各機関からの報告などに続いて、主に中国国家留学基金管理委員会の実施する「国家建設高水平大学公派研究生項目」の去年の受け入れ業績及び今年の進捗状況などについての各大学の情報交換を行った。また、在北京日本人留学生による小講演会をも行った。九州大学北京事務所の宋敏所長が今回の希平会に出席した。





■2008年オリンピック特集■

最新情報

オリンピックの年賀カードが人気

http://www.pekinshuho.com/ty/txt/2007-12/19/content_91195.htm

テスト大会レポ「競泳」1月31日 開幕初日

<http://japanese.cri.cn/81/2008/02/01/1@111697.htm>

北京五輪組委、五輪前後の準備スケジュール発表

http://www.pekinshuho.com/ty/txt/2008-01/07/content_94500.htm

「2008に会いましょう」——北京オリンピッククイズ

<http://japanese.cri.cn/other/content2008/>

眩しい五輪スター

NBAでの中国巨星(1)

姚明(Yao Ming)

出身:上海市

生年月日:1980年9月12日

身長:226cm

体重:134kg

2002年、NBAのヒューストン・ロケットにトップで加入。

2004年、アテネ・オリンピックの男子バスケットボールで第8位チームのメンバー
ニックネームは「小巨人」



五輪の協力都市



瀋陽オリンピックセンター

北京五輪の協力都市は瀋陽、天津、秦皇島、上海、青島、香港という五つの都市にされる。

瀋陽市は総面積は1万3000平方キロで、市街区の面積は3495平方キロ。地形は南から北への長さは205キロ、東から西への幅は115キロ。気候は温帯半湿潤大陸性気候に属し、年間気温は-29℃-36℃の間にあり、平均気温は8.3℃、年間降水量は500ミリ。

瀋陽オリンピック・スポーツセンター・スタジアムは、中国遼寧省瀋陽にある6万人収容できる競技場。2008年北京オリンピックのサッカー競で使用する予定。

北京・食いまり

北京ダックの現れた年代については、五世紀前の明朝(1368~1644)にまで遡ることができる。15世紀の初期、明王朝は都



を北京に移し、ダック **北京ダック** をあぶる技術も北京に持ち込まれた。その後、その技術は絶えず発展を遂げ、北京ダックは次第に全国に名を馳せる北京の名物料理の一つとなった。

北京ダックを味わう最適の季節は春、秋、冬であり、北京ダックはエサを口から押し込む飼育方法で飼う北京地方の肉用アヒルを選んであぶり焼きにしたもので、冬と春の季節になるとアヒルの肉は脂身が多くて柔らかく、秋季のアヒルは肉つきがよく、胴体が大きくて皮が薄いからである。あぶる前にアヒルの皮に麦芽糖を塗りつけるため、でき上がった北京ダックはクリ色を呈している。



■ 九 大 人 ■

劉益春

☆☆☆☆☆

東北師範大学 副学長 博士指導教師
国家優秀青年ファンド賞獲得者
中国科学院優秀「百人計画」入選者

敦品修身、善思篤学



足 跡

- 1963年1月 生まれ
- 1985年 東北師範大学を卒業
- 1988年 中科院長春物理研究所(今の長春光機所)を卒業、修士学位を獲得
- 1988年—1992年 東北師範大学の物理学部で助手、1990年講師、1992年教授 助手に歴任
- 1995年 中科院長春物理研究所で博士学位を取得
- 1994年—1995年 イタリアのトリノ工業大学で協力研究
- 1996年—1998年 吉林大学でポストドクトラルな(post-doctoral)研究をする
- 1996年—1997年 日本の九州大学ででポストドクトラルな(post-doctoral)研究をする
- 1998年 東北師範大学理論物理研究所の副所長、教授に任命され
- 1999年 研究員・博士指導教官として、中国科学院長春光機と物理研究所「百人計画」に入選
- 2000年—2004年 東北師範大学物理学院教授委員会主任から、院長へと
- 2004年—今 東北師範大学の副学長

インタビュー

- 1、九州大学の同窓会の皆さんに一番言いたいことはなんですか？
同窓会の皆さんに、新しい一年に仕事が順調に進むように、心身も健康でゆったりするように、万事も意に叶うようにお祈りします。
- 2、九大に留学していた期間に、一番印象深いことは何でしょう？
関連する研究は全てそれなりに明確な応用背景がある。
- 3、「国家優秀青年ファンド賞」受賞者として、自分の成功はどの点にあると思いますか？
領域の前線で課題を選び、いくつかの肝心の問題を対象として研究を行い、シリーズのシンポルな成果を出来上がった事。
- 4、ご研究の分野では、現在中国の足りない点は何でしょうか？
未だに、水準の高い学術のリーダが欠けないこと。
- 5、九大北京事務所の仕事について、何か提案或いは希望はありますか？
事務所の架け橋と紐帯の役割を強化して、九大との交流や協力をするように願います。



最新動き



中央テレビ、日本紹介のシリーズ番組を今年も継続



北京で開かれていた新中日友好21世紀委員会第七回会合で、CCTV・中国中央テレビの看板キャスター・白岩松氏は昨日、CCTVは今年も日本の今を伝えるシリーズ番組を企画、放送する予定だと明らかにしました。

昨日閉幕した新中日友好21世紀委員会第七回会合の記者会見の席上、白岩松キャスターは「昨年、日本取材に基づいたシリーズ報道番組『岩松看日本』(岩松が見た日本)がスタートした。この企画は今年も継続して行く。今回はより深いところに注目して番組を作る予定だ」と語り、環

境保護や炭鉱などの閉山後の街づくりなどが重点になると紹介しました。CCTVは去年四月、日本社会の今を紹介する報道番組『岩松看日本』を12回シリーズで放送し、好評を得ました。

<http://japanese.cri.cn/151/2008/01/29/1@111480.htm>



新中日友好21世紀委員会の第七回会合、北京で閉幕

<http://japanese.cri.cn/205/2008/01/16/1@110773.htm>

日本文化に親しむきっかけづくりを「日本文化交流会」

<http://japanese.cri.cn/205/2008/01/17/1@110826.htm>

第25回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会 東京で開催

<http://japanese.cri.cn/205/2008/01/16/1@110773.htm>

百度、日本市場での業務をスタート

<http://japanese.cri.cn/81/2008/01/30/1@111543.htm>

CCTV、中国の風光明媚な10都市を選出 杭州が1位

http://j.peopledaily.com.cn/2008/02/01/jp20080201_83413.html

トレンドキヤッチ

2007年中国の新語流行語(1)

①**白奴(ホワイトカラー奴隷)**:住宅、乗用車、義理人情、理想を追うことに疲れたホワイトカラー。マイホーム奴隷、マイカー奴隷、カード奴隷が一体となったホワイトカラー奴隷は、月給は高いのに山のような負債を抱え、生活苦に陥っている。

②**睡眠博客(放置ブログ)**:一ヶ月間以内の更新が平均一回に満たないブログ。放置ブログはネット資源に巨大な浪費をもたらしている。

③**大肚子経済(マタニティー経済)**:妊婦や赤ん坊を主な客層とする経済様式。現在、中国では毎年妊婦が1300~1400万人、生まれたばかりの赤ん坊が1000万人以上に達している。「マタニティー経済」は膨大な固定客層を有している。

今月の
キーワード

「2007年中日関係の十大ニュース」が決定

2007年は温家宝総理の訪日、「中日文化・スポーツ交流年」関連イベント、第1回中日経済ハイレベル対話、福田康夫首相の訪中など、話題が目白押し1年となり、中日関係は更なる改善を見た。新しい年を迎えるにあたり、人民網は「2007年の中日関係10大ニュース選出」として活動を行い、昨年中日両国間に起きたニュースを総括・回顧した。結果は次の通り。

1. 温家宝総理が訪日「氷を融かす旅」
2. 福田首相が訪中「迎春の旅」
3. 中日文化スポーツ交流年が開幕 民間交流を促進
4. 国交正常化35周年、中日両国がレセプション開催
5. 「中日ハイレベル経済対話」、12月1日に北京で初会合
6. CCTVが日本で「岩松看日本」を制作、理性的に見る日本
7. 第七回中日戦略対話 北京で開催 中日関係引き続き改善
8. 曹剛川国防部長 1998年以来初の訪日
9. 南京大虐殺70周年
10. 中国のミサイル駆逐艦「深セン」が日本訪問
(「人民網日本語版」より)

<http://japanese.cri.cn/151/2008/01/28/1@111469.htm>





■ Q-ナビ ■



情報カレンダー

- 👉 08.01.08 中国人作家楊逸さん、初めて芥川賞にノミネート
http://japanese.china.org.cn/jp/txt/2008-01/08/content_9497934.htm
- 👉 08.01.23 外国人特別研究員科学研究費補助金（特別研究員奨励費）募集
http://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-fellow_14/19_shorei_download.html
- 👉 08.01.23 九州大学平成19年度私費留学生のための奨学金情報が更新
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/student/page1-34/page012.htm>
- 👉 08.01.29 第29回中国セミナー中国産業高度化の潮流－携帯電話・半導体設計産業のケース【機構会員限定】のご案内
<http://www1a.biglobe.ne.jp/jcbag/>

中国の教育は いま

2007年9月まで、各級の出国の海外留学生を合わせて34742人も派遣して、期限になって帰国すべきのは28230人で、実際に帰国したのは27524人、帰国率は97.5%です。特に2007年に、留学は画期的な進展を実現して、選んで派遣する規模は初めて1万人を超え、中の大学院生が5000人で、改革開放してから選抜人数の最も多い1年です。国家留学基金管理委員会と関連の大学・高等専門学校が協力で展開する“青年骨幹教師の出国研修プロジェクト(2008-2010年)”の調印式は2007年12月21日に北京で開催され、調印式に教育部副部長の章新様が出席して、重要な演説を發表しました。

春節が始まろう

中国の旧正月・春節は、その七日前の旧暦12月23日から始まります。この日を「小年」といい、今年の「小年」は新暦で言うと1月30日（水）に当たります。

この日の過ごし方としては、まずは大掃除です。家の隅々まで綺麗にして、清潔な環境の中で新年を迎えるというわけです。

もう一つは、「(火土)王爺」という神様を祭る風習があります。昔からの言い伝えによると、食事を司る神様は、普段は人間の家の台所に住んでいますが、「小年」になると、天に昇って、住んでいる家の過去一年の様子を天の神様に報告します。よい報告をしてもらえよう、一家で食事の神様を祭って欲しいするというわけです。



昔は、この日の夕方に、天に昇っていく神様、そして神様が乗る馬のために、実際に菓子や水を供えたりしていたものです。いまはこの風習は一部の地方にしか残っておらず、神様に供えるはずの菓子を人間が口にしたりしています。この菓子は「関東糖」といい、細長いキャンディがゴマにくるまれていて、甘くて香ばしく、独特な美味しさです

